
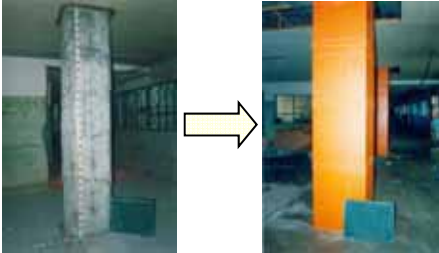
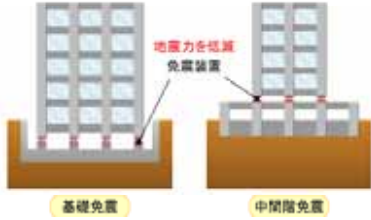
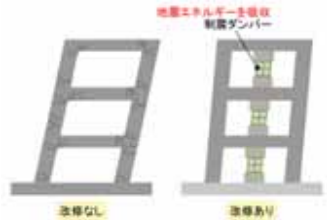


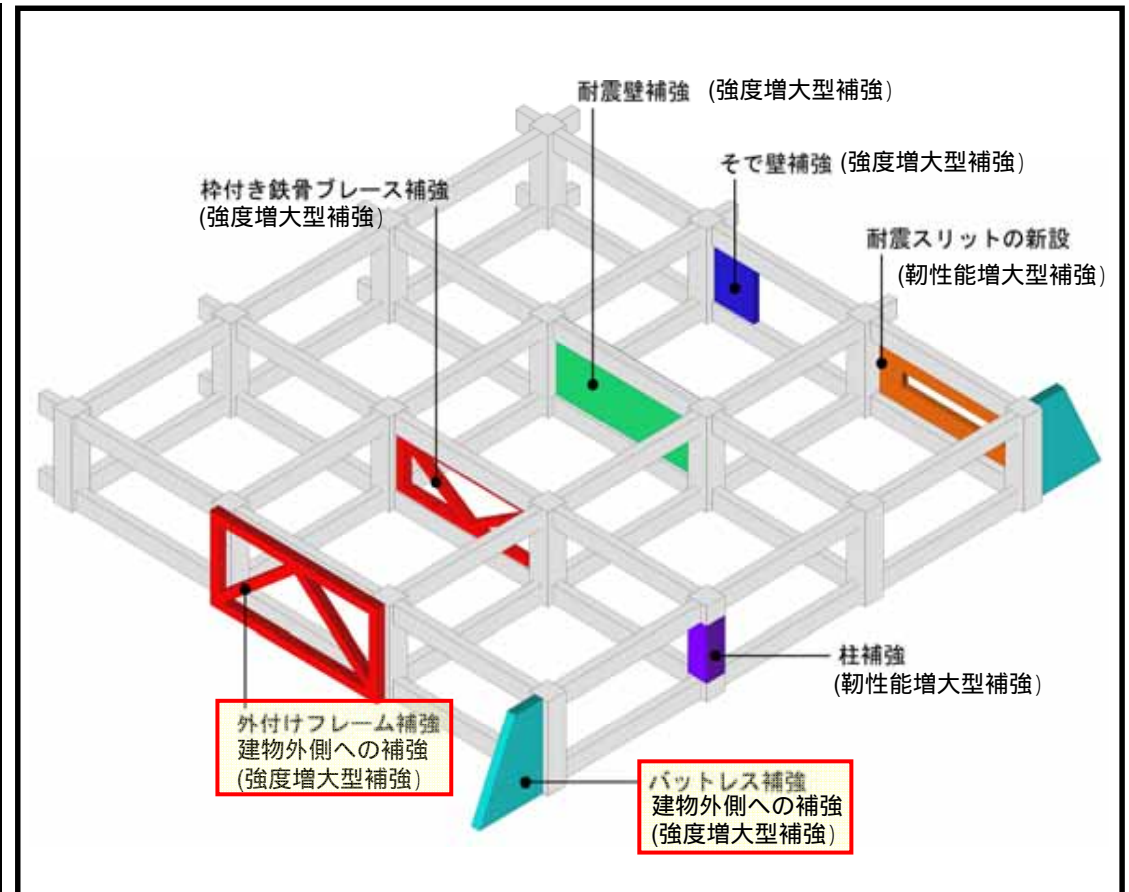
## 2 - 3 改修技術 耐震改修工法の種類

・耐震改修工法には、強度を増大させる工法、靱性能を高める工法その他、建物への地震力の入力を抑制する免震改修、制震改修などがある。

### 耐震改修工法の種類

<p><b>強度増大型補強</b> ブレース, 耐震壁の新設など</p> <p>実施例が豊富, 一般に安価 × 建物の使い勝手が変わる場合がある</p>	
<p><b>靱性能増大型補強(2)</b> 柱鋼板巻立て補強など</p> <p>比較的簡便な方法 × 強度が低い建物では補強効果が得にくい</p>	
<p><b>免震改修(2)</b></p> <p>免震層以外は建物の使い勝手は変わらない × 免震層変位が大きいため敷地に余裕が必要。設備の免震化も必要。</p>	
<p><b>制震改修(2)</b></p> <p>在来補強よりも補強箇所が減る場合がある × 変形性能(靱性能)が低い建物には不向き。</p>	

### 強度・靱性能増大のための補強工法の種類(1)



- (1)「マンション耐震化マニュアル」((財)日本建築防災協会 / 国土交通大臣指定耐震改修支援センター)に加筆
- (2)「マンション耐震化マニュアル」((財)日本建築防災協会 / 国土交通大臣指定耐震改修支援センター)より図を引用

## 2 - 3 改修技術 制震改修工法の種類

- ・制震改修工法には、減衰力を付加する方法のバリエーション、制震装置(ダンパー)の形状のバリエーションにより様々な種類がある。
- ・既存建物の耐震性能に影響されるが、制振装置を用いることで強度増大型の補強工法よりも補強箇所を減じることができる場合がある。

### 制震改修工法の種類

